

「さ、ひっくり返そう。」

教頭 坂本 豊樹

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

日本漢字能力協会のキャンペーンの一つに、今年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」というものがあります。2022年に選ばれた「今年の漢字」は、「戦」でした。選ばれた理由として、すぐに思い浮かぶのは、サッカーW杯での日本代表の戦いぶりや未だに終わりが見えないロシアによるウクライナ侵攻です。調べてみると、他にも、円安、物価高など生活のなかで起きている身近な戦いというものもあるそうです。皆さんは2022年を振り返って漢字一文字で表すと、どの文字を選びますか。

さて、話は変わりますが、次に示すのは、3年前に西武・そごうが出したお正月広告の一部です。読んでみてください。

大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。



かなりネガティブな内容となっていますが、この広告に「さ、ひっくり返そう。」というフレーズが掲載されています。今度は、下から上に一文ずつ読んでみてください。さあ、逆転劇が始まります。去る1月12日の昼休みに、2年生の皆さんが3年生に贈った心のこもったエールのように、私たちに勇気と希望を与え、心が熱く燃え上がる気持ちにさせてくれます。

ところで、2学期を締めくくる終業式に、満行校長先生が話された「夢八訓」を覚えていますか。「夢のある者は希望がある。希望がある者は目標がある。……」と続きます。そして、「夢」→「希望」→「目標」→「計画」→「行動」→「実績」→「反省」→「進歩」と8つのプロセスを経て、再び「夢」に戻るというものです。このプロセスを通じて成長していくことの尊さ、夢を持つことの大切さ等を皆さんに伝えるものでした。

新年を迎えた2023年、どのような年にしようと心に留めていますか。皆さんにとって飛躍の1年になることを願っています。「さ、〇〇〇〇〇〇。」

2月の行事予定



1日(水) 前期選抜検査 生徒家庭学習
2日(木) 生徒家庭学習
4・5日(土・日) 進研マーク模試(2年)
7日(火) マイナビ進路講演会(2年)
8日(水) 前期選抜合格者発表
9日(木) 考査時間割発表
10日(金) 漢字検定(17:30)

16日(木)～21日(火)
学年末考査(1・2年)
21日(火) 一斉容儀検査(1・2年)
27日(月) 卒業式会場設営(午後)
28日(火) 卒業式予行 同窓会入会式

3月1日(水)は、第75回卒業証書授与式を予定しております。

大学入学共通テスト

1月14日・15日の2日間で、大学入学共通テストが行われ、本校からは42名の生徒が、長崎県立大学佐世保校で受験しました。

これまで、1・2年生が、受験100日前からの日めくりの応援メッセージを作成したり、受験前々日の12日(木)には、生徒会長の新立優晴さんを中心に

2年生が中庭で「猶興出典」を唱え、激励のエールを送るなど、全校をあげて受験生を応援してきました。

受験会場では、昨年同様、コロナウイルス感染症防止対策の徹底に努め、マスクの着用や教室の換気など、これまで以上に注意を払いながらの受験となりました。

今後3年生は、自己採点の結果と各大学の合格ラインを見ながら、出願校を決定し、2月下旬に実施される国公立大学の2次試験や私大入試などに臨みます。それぞれの受験まであともうひと踏ん張りです。

がんばれ、3年生!



競歩大会 1月27日(金)



今年は男子、女子ともに18.2kmのコースをそれぞれ班に分かれて、完走・完歩しました。

本校競歩大会のコースは、木引から古江に向かう途中、小富士や古江湾など平戸の美しい自然を観ることができます。川内峠に登る途中には、千里ヶ浜も望むことができ、生徒たちは平戸の良さを感じながら班員みんなで励まし合い、学校に帰着することができました。

記録的な寒波と小雨の影響で凍えるような寒さの中、沿道で応援してくださいました地域の方や保護者のみなさまありがとうございました。また、PTAから補食やカイロを準備していただきました。生徒たちの頑張るエネルギーになりました。ありがとうございました。

